

平成25年6月14日

外務大臣様

広島県三次市長

米軍機の低空飛行訓練の中止について（要請）

三次市では、米軍機によるとみられる低空飛行訓練により爆音や事故等の恐怖や不安に悩まされています。

このため、市として市民の安心と安全を守る立場から、低空飛行訓練の中止をこれまでも再三にわたり米国および岩国基地に対して要請してきました。

しかしながら、6月4日には三次市作木町上空で数回もの低空飛行が行われました。

午後0時30分頃を目撃情報によると「パイロットが確認できる程の超低空飛行であった」こと、またその際に飛行していた機体を撮影したこともあり広島県を通じて事実を照会した結果、6月11日、米軍機であるとの回答を得たところです。

この超低空飛行に伴う爆音により、子ども達や観光客などに大きな恐怖感をもたらし本市の安心安全が脅かされていることにほかなりません。

本市としては、平成11年1月14日の日米合同委員会での合意内容が順守されていない以上、米軍機による低空飛行訓練の即時中止を要請します。

貴職におかれましては、市民の平穏な生活が脅かされているという現実をご認識の上米軍等の関係機関に対し、低空飛行訓練を即時中止するよう申し入れていただくことをあらためて強く要請します。

平成25年6月14日

防衛大臣様

広島県三次市長

米軍機の低空飛行訓練の中止について（要請）

三次市では、米軍機によるとみられる低空飛行訓練により爆音や事故等の恐怖や不安に悩まされています。

このため、市として市民の安心と安全を守る立場から、低空飛行訓練の中止をこれまでも再三にわたり米国および岩国基地に対して要請してきました。

しかしながら、6月4日には三次市作木町上空で数回もの低空飛行が行われました。

午後0時30分頃を目撃情報によると「パイロットが確認できる程の超低空飛行であった」こと、またその際に飛行していた機体を撮影したこともあり広島県を通じて事実を照会した結果、6月11日、米軍機であるとの回答を得たところです。

この超低空飛行に伴う爆音により、子ども達や観光客などに大きな恐怖感をもたらし本市の安心安全が脅かされていることにほかなりません。

本市としては、平成11年1月14日の日米合同委員会での合意内容が順守されていない以上、米軍機による低空飛行訓練の即時中止を要請します。

貴職におかれましては、市民の平穏な生活が脅かされているという現実をご認識の上米軍等の関係機関に対し、低空飛行訓練を即時中止するよう申し入れていただくことをあらためて強く要請します。